



「ふるさとを愛し、
生きていく力を育む萩っ子」の育成を目指します

主体性を重視（2学期始業式校長の言葉より引用）

校長 河村 康郎

主体性、主体的とはどのような意味でしょうか。一言でいうと、主体的とは、「自ら考え、自ら行動すること」です。生徒の主体性を重視するなどよく耳にします。

では、なぜ主体性が必要だと言われているのでしょうか。今、世の中は急激に変化しています。AIの進化、地球環境の問題、人権尊重、働き方の変化などその要因は様々です。特にAIの進化によって、10年後、20年後には現在ある職業の49%の仕事がなくなるのではないかとされています。そのような変化の激しい社会を皆さんは生きていくことになります。そのためには、自ら考え、自ら判断し行動する力が必要となります。

高萩中学校では、皆さんの主体性を育むために日々の取組を考えています。例えば、校則の見直しについてです。現在、髪型のルールについて、皆さんの意見、保護者の方々の意見、職員の意見を集約して検討を行っています。皆さんにただルールを押し付けるのではなく、一緒に考えたいと思っています。また、2学期に行われる避難訓練もその一つです。いつどのような形で行うということは知らせずに行いたいと考えています。その状況で皆さんがどのように考え、どのように行動するべきか、考えてください。さらに、体育祭、合唱祭。ここでは団長や実行委員の人を中心に何を目標にどのような練習を行うのか？どうすれば成果を挙げられるのか？生徒主体で考えて行動をしてほしいと思います。

ここまで主体性について話をしてきましたが、一つ大前提をお話します。主体性とは、自分の好きなように考え、好きなように行動することではないということです。つまり、主体性と自由は異なるということです。学校での生活は集団活動になります。お互いを尊重し、思いやりのある発想をしてください。

夏休みの出来事を紹介します。スーパーのトイレ付近で倒れている女の子がいたそうです。高萩中の陸上部の生徒数人が声をかけて、緊急性があると判断し、救急車を要請してくれたということがありました。その子は高萩小の女子児童で、後程、お母さんがお礼を言いに来てくださいました。1学期には総合公園のゴミ清掃、具合の悪いお年寄りへの声掛け、夏休み中の体育館の雨漏りを一生懸命拭いてくれたことなどもありました。思いやりがあり主体性のある高萩中生の行動を誇りに思います。

☆保護者の皆様へ

夏休みが終わりました。お子さまのご家庭での様子はいかがでしたか。2学期もお世話になります。また、夏休み中にはご多用の中、校則（髪型）に関するアンケートにご回答いただき、ありがとうございます。慎重に検討を行っていきたいと思います。

